

浪江町議会定例会 行政報告

令和元年浪江町議会6月定例会において、
町長から町政の執行状況を報告しました。

※一部抜粋

復興まちづくり

交流・情報発信拠点 施設の整備



5月26日に起工式を行い、いよいよ本格的な造成工事に着手しました。現在、施設の詳細設計を並行して進めています。

施設のオープン時期については、「地域振興施設」が令和2年7月、「地場産品販売施設」が令和3年1月のオープンを予定しています。

スマート コミュニティ導入 促進事業



再生可能エネルギーの導入とスマートコミュニティ整備構想を推進するため、幾世橋住宅団地85戸および集会所1棟に、太陽光発電設備と蓄電池を設置しました。

携帯電話等エリア 整備事業

国道114号沿線の室原仲沢局、南津島下冷田局の2基地局の整備が3月末に完了し、当該区域の通話が可能となりました。

引き続き、新たに3か所の基地局の整備を進め、町内の「携帯電話不感区域」の解消に努めていきます。

電気自動車用 マルチ急速 充電器の設置



3月18日、フォーアールエナジー株式会社と共同で、「電気自動車用マルチ急速充電器」を浪江町地域スポーツセンター内駐車場に設置しました。

このことにより、電気自動車の充電時間が大幅に短縮され、利便性の向上が図れるものと期待しています。

雇用の場の創出・ 企業誘致の取組



北産業団地では、現在、造成工事に加え、アクセス道路の整備工事を進めています。一部通行止めなどにより、町民の皆さまには不便をお掛けしますが、安全に配慮し、今年秋の供用開始に向けて着実に整備を進めていきます。

復興加速化に向けた 要望活動

4月2日、自由民主党東日本大震災復興加速化本部長に対し、「浪江町の復興・創生に向けた要望書」を提出し、復興の加速化と復興庁の後継組織体制の整備、財源確保について強く要望しました。

また、4月11日には、復興大臣などに対し、原発事故による帰還困難区域を抱える町村の協議会から「帰還困難区域の復興・再生に向けた要望書」を提出し、特定復興再生拠点区域の早期整備の促進と、拠点区域外の避難指示解除に向けた方針の明示などについて要望したところです。引き続き、議会とも連携しながら、復興の加速化と実現に向け、積極的に要望活動に取り組んでいきます。

町営住宅の 整備



御殿南町営住宅10戸の修繕工事が3月15日に完了し、これまでに7世帯が入居を開始しています。

町内イベント事業



4月6日、請戸川リバーライン周辺を会場として、震災以降初となる「なみえ春まつり」を開催し、多くの町民の皆さまが来場し、町民同士の再会と、夜桜と花火の競演を満喫していただきました。

引き続き、町民が集い、町民同士や町と町民の絆が深まるよう、町内イベントを企画、実施していきます。

町内の安全・安心

災害時における 支援協力協定の締結

5月21日、イオンリテール株式会社と、災害時における支援協力に関する協定を締結しました。協定では、災害の発生、または発

進めています。
引き続き、計画どおりに事業用地を提供できるよう、着実に造成工事を進めていきます。

生活支援

応急仮設住宅



応急仮設住宅の供与期間は、1年延長されたことにより、令和2年3月末日までとなっています。

4月30日現在、建設型の供与戸数216戸に対し、入居戸数21戸、入居者数29人で入居率9・7パーセント。借上型については入居戸数74戸、入居者数1,335人となっています。

生ずる恐れがある場合に、町が行う災害対応活動に対して、イオンリテール株式会社が支援協力することとなっています。

この協定により、食料、飲料水、生活物資などの調達、店舗における水道水、トイレなどの提供、災害情報の提供などの協力を得られることとなっています。

引き続き、町民の皆さまが安心できる、災害に強いまちづくりのための取り組みを進めていきます。

産業再興への取組

町内での事業再開 および買物環境 の整備



5月1日現在、町内での事業者数は、再開・新規を合わせて、133事業所となっています。

町外の 復興公営住宅



4月1日現在、県営および市町村営を合わせて1,502世帯、2,647人の入居が決定し、新たな住環境での生活を開始しています。

賠償支援



個人によるADR申立ての支援については、多数の和解成立により慰謝料などが増額され、救済が図られていることから、6月1日から県内外の6か所において、申立てに関する説明会を開催しています。

買物環境の整備については、イオンリテール株式会社とスーパー outlet に関する覚書を締結し、現在、7月の開店に向けて相互協力により準備を進めています。

プレミアム付 商品券



今年度も6月8日から販売を開始します。
販売および利用期間は、6月8日から令和2年1月31日までを予定しています。

営農再開



今年度の水稲の作付は、酒田、北棚塩、苅宿、藤橋、立野、幾世橋の6地区で行われ、昨年度の作付面積を上回る27・2ヘクタールとなりました。

6月1日・2日の説明会には、35人の町民の方が参加し、今回も、比較的簡易な「和解仲介手続申立書」を活用し、参加者の申立てが実現したところです。

東京電力ホールディングス株式会社では、個人によるADR申立てに関して、「和解の成立に向けて最大限努力する」旨を示しており、引き続き、説明会などを通じて、個人によるADR申立ての促進を図っていきます。

医療・健康

健康づくり 総合計画



3月に「浪江町健康づくり総合計画」を策定し、計画の概要版を「広報なみえ5月号」に同封し、全世帯に配布しました。
今後は、この計画に基づき、継続的な町民の健康管理に努めていきます。

教育行政

学校教育



3月16日、なみえ創成小学校・なみえ創成中学校の校歌完成披露会として「校歌完成の集い」を行いました。

集いには、作詞の和合亮一氏と作曲の信長貴富氏も出席し、児童・生徒、地域の方々を含めた約140人が参加し、待望の校歌の完成を祝いました。

また、4月8日には、なみえ創成小学校の入学式を行い、新入生6人が入学し、在校生は、なみえ創成小学校14人、なみえ創成中学校2人の計16人となりました。入学式では、来賓や地域の方々を含め、約100人が出席しました。この日は、幾世橋小学校・請戸小学校・大堀小学校・苅野小学校の小学校4校と、浪江中学校・浪江東中学校・津島中学校の中学校3校の合同休校式も同時に執

り行い、7校を代表して、浪江東中学校前校長による校旗の返納を行いました。

子育て支援



4月5日、浪江にじいらくこども園の入園式と進級式を行いました。児童数は、新入園児2人、進級児7人の計9人です。

その他

ふるさと納税



浪江町を応援したいという思いのある全国の方々からの寄附金を受け付ける仕組みとして、3月から、「ふ

るさと納税専用ホームページ」の利用を開始しました。

このホームページを利用することにより、クレジットカード決済が可能となり、より寄附をしやすい環境となりました。

今後、ふるさと納税制度を活用し、町のPR、産業の振興、復興に係る財源確保を進めていきます。

教育長の就任

6月24日で任期満了となる畠山熙一郎教育長の後任者の任命の同意をいただきました。

笠井 淳一（福島市）

【略歴】

昭和56年福島大学卒。
昭和56年4月新鶴村立新鶴中学校（現…会津美里町）に赴任。津島小学校長、浪江中学校長などを歴任し、平成30年3月に定年退職。
平成30年9月からは浪江町教育委員会教育委員を務める。